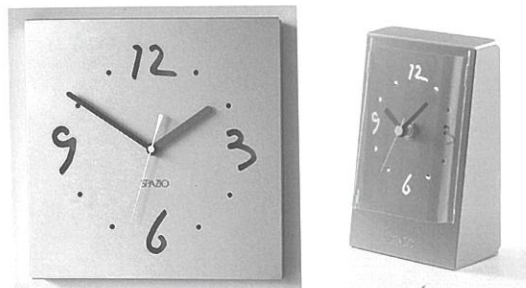


企業探訪

in 東大阪



▲東大阪ブランドに認定された「SPAZIO」
(左が掛時計、右が置時計)

時代のニーズを掴み 進化を続ける塗装のプロ集団

(株)オークマ工塗



代表取締役社長 大熊 重之 氏

【所在地】 東大阪市布市町 3-2-57

【電話】 072-988-1363

【業種】 塗装業

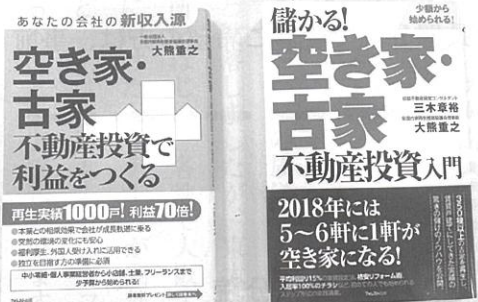
(株)オークマ工塗は1992年創業。自動車や各種機械などの小物部品を中心に工業塗装を手掛ける。同社の強みはどんな素材の塗装もカバーする対応力。一般的に塗装業界では金属専門・樹脂専門などの専門領域が存在する。しかし、当社では蓄積したノウハウを駆使し、素材の特性を把握した上で最適な塗装方法を提案する「素材最適塗装」を掲げて、多様化する顧客ニーズに応えている。

また、東大阪市主催の「東大阪デザインプロジェクト」に参加し、塗装技術を活かした自社ブランドの商品化を手掛け、世界的なプロダクトデザイナー喜多俊之氏がデザインを監修、一枚の金属板を加工して同社の塗装技術による美しい色合いに仕上げたインテリアアクリック「SPAZIO（スパツィオ）」ブランドで販売。東大阪ブランドにも認定され注目を浴びることとなった。

新たな事業に挑戦する精神は、塗装業界全体における下請取引の不安定さへの危機感から培われ、不況に見舞われる度、新規事業創出に考えを巡らせたという。そして、最初に見舞われたのが2010年に立ち上げた住宅専門のリフォーム事業。クロスに比べて塗装は質感が優しく、デザインも豊富かつローコストであることからオーナーの反響を呼んだ。さらに社会問題化している空き家問題にも目を向け、(一社)全国古家再生推進協議会を2014年に設立。現在、空き家再生は全国的にも

広がりを見せ、協議会全体で1816棟にのぼるといふ。

空き家再生への投資は本業とのリスク分散ができ、安定収入が見込めることから、同社も事業の柱の一つとして取り組み、「塗装・リフォーム・空き家再生」の3本柱がシナジー効果を生み出すことで、経営基盤を盤石にしている。「塗装業には小規模な会社が多く、後継者問題や人手不足問題が深刻化しています。今後は当社のノウハウを活かして、業界における協力体制を築き、広く社会に貢献したいと考えています」と大熊社長は語る。



▲空き家投資のノウハウが詰まった 大熊社長の著書。